

中谷将大(なかに まさひろ)

1993年1月5日、小郡市生まれ。のぞみが丘小学校3年生の時に少年野球クラブ「みくに野ハニーズ」で野球を始め、三國中学校在学中は「二日市ライオンズ」に所属し、全国大会出場。2010年に福岡工業大学附属城東高校からドラフト3位で「阪神タイガース」に入団。プロ7年目の昨シーズンは4番打者も経験し、133試合に出場。自己最多の20本塁打を達成して注目される。来季からは阪神選手会の副会長に就任するなど、チーム内からも将来を囑望されている。

1月某日小郡市野球場にて



で、「途中プレッシャーもありましたが、レギュラー定着の目標も達成できた充実の年でした。市を挙げて大使に任命してもらった以上、より良い成績を残せるよう頑張ります」と、来シーズンに向け、さらなる躍進を誓ってくれました。

中谷選手も結果に手応えを感じたようで、「途中プレッシャーもありましたが、レギュラー定着の目標も達成できた充実の年でした。市を挙げて大使に任命してもらった以上、より良い成績を残せるよう頑張ります」と、来シーズンに向け、さらなる躍進を誓ってくれました。

昨年12月28日、関西からも多数の記者が詰めかける中、小郡市役所で任命式を行いました。就任会見で中谷選手は、小郡市を「自然豊かできれいなまち」と紹介し、早速生まれ育ったまちをPR。「大使の名に恥じないプレーをして、故郷を盛り上げたい」と、全国に向けて熱い思いを語っていました。

小郡市初のスポーツ大使が誕生
「活躍して地元を盛り上げたい！」

中谷選手は、小郡市の「ふるさと納税」にも協力。「子どもたちが安心して遊べる環境づくり」に、役立ててほしい」と寄付金を市長に託し、加地市長は「その趣旨をくみ、使い道を検討させてもらいます」と、有効に活用することを約束。地元のみならず、市外にも貢献してくれました。

ふるさと納税にも協力
「子どもの環境作りに使ってほしい」

中谷選手は、小郡市の「ふるさと納税」にも協力。「子どもたちが安心して遊べる環境づくり」に、役立ててほしい」と寄付金を市長に託し、加地市長は「その趣旨をくみ、使い道を検討させてもらいます」と、有効に活用することを約束。地元のみならず、市外にも貢献してくれました。

「僕が活躍することで、将来小郡の野球人口が増えたらうれしい。また甲子園球場も素晴らしい球場なので、小郡からも応援に来てくれるとありがたいですね」と、関西との新たな架け橋となるべく、使命感に燃える中谷選手。

来季は選手会副会長就任が決まっております。チームを引っ張り、「小郡」の名を全国に轟かす存在となるよう、一層の活躍を期待せずにはいられません。



阪神タイガース・中谷将大選手 小郡市初の「ふるさとスポーツ大使」に就任

「大使の名に恥じない結果を残して、
なかに まさひろ
地元小郡を盛り上げたい」(中谷将大選手)

市のスポーツ振興と、日本全国への小郡市の情報発信のために昨年12月に創設した「ふるさとスポーツ大使」。かつて「みくに野ハニーズ」でプレーし、現在は「阪神タイガース」で活躍の中谷将大選手(25歳)を、記念すべき第1号に任命しました。

また、同日は後援会も誕生し、応援のバックアップ体制も整いました。

12月28日「大使任命式」に取材も多数



大使任命のニュースは関西でも大きく報じられました



小郡市の「ふるさと納税」

市では地域産業の活性化や市のPRにつなげていくため、お礼として特産品を贈呈しています。寄附の増加に力を入れた平成29年度は最高額に達し、12月末時点で前年度計の2.7倍に上る6千万円に到達しました。

「ふるさと納税」とは？

故郷や応援したい地域など、自分の意思で選んだ自治体に寄附金を贈ることができる制度。原則として2,000円を除いた全額について、所得税と住民税から控除を受けられます(上限あり)。

《返礼品は小郡特産物をラインナップ》

※総務省の指導に基づき市内在住者には返礼品の進呈ができません



「自然純はちみつもちの木」



「花むすめ(ひのひかり)」



「博多あまおう」



「おごりブレンドコーヒー」

以下ホームページから閲覧、申込が可能です。
 企画課(内線224) ファクス73-4466
 ▼市役所 <http://www.city.ogori.fukuoka.jp/>
 ▼『ふるさとチョイス』<https://www.furusato-tax.jp/>
 ▼『楽天ふるさと納税』<https://event.rakuten.co.jp/furusato/>